

## 2 令和7年度事業報告

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びにその公益目的事業の推進に資するための事業等を7地区と連携し次のとおり行う。

### ○事業(定款第4条)

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2. 看護職の労働環境の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

### 令和7年度鹿児島県看護協会重点事業・基盤強化事業

#### 《重点事業》

1. 全世代型地域包括ケアを支える看護提供体制の推進
  - 1) 看護提供体制の構築(外来機能強化、訪問看護・看多機の提供体制強化)
  - 2) 地域における健康・療養支援体制の強化(重症化予防の看保連携、産業保健との連携)
  - 3) 母子包括支援体制強化(助産師を活用した院内助産・助産師外来・産後ケア事業の推進等)
  - 4) 地域における看護職の確保と活躍推進
  - 5) 看護におけるDXの現状・課題の把握
2. 地域における健康危機管理体制の強化
  - 1) 災害発生及び感染症拡大時における看護人材の養成・育成及び人材派遣体制の整備
  - 2) 本会BCPの机上訓練の実施
3. 看護職の確保・定着と働きやすい環境づくりの推進
  - 1) ナースセンターの機能(人材確保・届け出制度・再就業支援セミナー事業等)の強化
  - 2) 就業継続が可能な看護職の働き方改革の普及・推進
  - 3) 労働環境改善の取組推進
  - 4) 看護補助者の確保・定着のための課題把握・対策の検討、看護職員との協働の推進
4. 看護の質向上及び看護職の役割拡大の推進
  - 1) 看護職員基礎教育専任教員の確保・定着の推進
  - 2) 新人看護職員の教育体制の充実・強化
  - 3) 特定行為等に係る研修制度の活用推進
  - 4) 資格認定制度(専門看護師・認定看護師・認定看護管理者)認定者等の活動支援
  - 5) 看護職の生涯学習支援体制の現状・課題把握

#### 《基盤強化事業》

1. 基盤強化に向けた会員サービスの向上と会員確保・定着
  - 1) 会員加入・継続の促進
  - 2) 研修管理システムの推進
  - 3) 会員情報管理システムの広報及びシステム管理体制の強化
  - 4) 会館長期保全計画の実施並びに建替え・整備計画の検討
2. 看護職に係る各種情報・データ収集と活用の推進
  - 1) DiNQL事業・病院看護実態調査等への参加推進
3. 地区支部活動の推進
  - 1) 地区看護管理者間のネットワーク強化(平時・災害時)
  - 2) 地区支部間の連携強化
4. 政策推進のための組織力強化
  - 1) 計画的な職員確保・育成
  - 2) 看護連盟・教育協議会との連携
  - 3) 日本看護協会との連携・協働
  - 4) 行政・関係団体等との連携
  - 5) 県内看護管理者会等との連携

### ○主な新規の取り組み

1. 専任教員研修受講者継続支援
2. 新たな研修分類に基づく研修の企画と実施
3. 医療的ケア児等支援センターの機能強化
4. 看護補助者も追加したナースバンク事業の強化
5. 看護学生・潜在看護職を対象としたNuPSの周知によるキャリア継続支援
6. プラチナナースの実態調査
7. PR推進委員会の立ち上げ等により「看護かごしま」等広報誌のリニューアル
8. 日本看護協会と連携した在宅医療・介護における連携推進事業

令和7年度 事業実績

定款1		取組事業	取組実績
看護教育及び学会等学術振興に関する事業	定款1-1 看護基礎教育・新人	①新人看護職研修 ②新人看護職員卒後研修実施指導者研修 ③新人看護職員卒後研修教育担当者研修 ④教員継続研修検討委員会 ⑤看護基礎教育を考える会	①専門職としての第一歩 9/6,9/11 202名 ②実地指導者研修 1/29~1/31,2/12 198名 ③教育担当者研修 7/24~7/26 54名 ④専任教員研修検討委員会 4/24,8/22,11/13,3/3 ⑤基礎教育を考える会 2/27 59名
	定款1-2 専任看護教員の育成・支援	①専任教員フォローアップ研修 ★ ②専任教員継続研修	①専任教員フォローアップ研修 7/26、10/11 13名 ②ア.専任教員継続研修(新任期) 7/24,10/10 9名 イ.専任教員継続研修(中堅期・管理期) R8.2/28 4名
	定款1-3 特定行為等に係る研修制度の活用推進	①特定行為研修制度の広報・受講の促進 ②指定研修機関・協力病院の確保・連携・支援 ③特定行為研修修了者の活動支援	①地域医療を支える看護師特定行為シンポジウム 11/22 ①②特定行為研修を行っている指定研修機関の広報 ③教育研修の講師依頼
	定款1-4 資格認定制度(専門看護師・認定看護師・認定看護管理者)認定者等の活動支援	①ファーストレベル教育企画・運営・修了支援 ②セカンドレベル教育企画・運営・修了支援 ③サードレベル修了者支援 ④各資格認定者の活動支援	①ファーストレベル受講者75名 修了者71名 ②セカンドレベル受講者28名 修了者28名 ※認定看護管理者教育運営委員会 6/6、9/11 ※施設代表者会議 9/6
	定款1-5 看護職の生涯学習支援	①生涯学習の体系化に向けたプロジェクトチームによる検討 ②研修の企画と実施 研修分類★ 分類1:専門職としての活動の基盤となる研修 分類2:看護・医療政策に関する研修 分類3:人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修 分類4:看護管理者を対象とした研修 分類5:資格認定教育	①実施していない ②別紙1参照
	定款1-6 看護業務に関する看護の質の向上支援	(1)看護研究学会の開催 ①看護研究の取組み支援 ②研究倫理委員会の開催 ③看護研究支援員制度に関する調査研究のまとめ	①県看護研究学会 2026年1月24日開催 ※演題申し込み:7題、研究相談申込:2組 ②研究倫理委員会の開催: 5月17日(2題) 7月26日(1題) 9月27日(1題) 1月31日(1題)
定款2		取組事業	取組実績
県民の健康及び福祉の増進に関する事業	定款2-1 ナースセンターの機能強化	(1)ナースバンク事業 ★2024年度より看護補助者も対象 ①無料職業紹介 ②ナースセンター・ハローワーク連携事業 ③未就業看護職員の実態と就業希望条件の把握及び看護職員需要施設の把握 (2)相談事業 ①ナースセンターにおける相談 ②看護職員就業相談事業(地域ハローワーク相談) (3)看護師等資格保持者の届出制度「とどけるん」 (4)看護職員のキャリア継続支援★ 看護学生・潜在看護職を対象としたNuPSの周知	(1) ①再就業者数:440名 (常勤185 非常勤80 臨時175) ②HW連携求人:441件 連携求職者 40人 (2) ①ナースセンターにおける相談 求人施設対応2,153件 求職者対応7,441件 ②地域ハローワーク相談 ハローワーク相談12箇所 相談者数 132名 就業者数61名 (3)看護師等資格保持者の届出制度「とどけるん」 R7年届出数 190名 (4)看護学生・潜在看護職を対象としたNuPSの周知 学校訪問や再就業セミナーでの説明 NuPSのリーフレット配布 配布数: 620枚

看護職の労働環境の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業		<p>(5) 再就業支援事業</p> <p>①再就業支援セミナー開催 ②再就業技術支援セミナー開催(採血、救護等) ③再就業応援セミナー ④潜在助産師再就業支援セミナー ⑤看護人材確保・活用対策セミナー ⑥多様な働き方に関する就業支援(プラチナナース活動支援)</p> <p>(6) 「看護の心」普及事業</p> <p>①看護の日・週間でのPR活動・イベントの開催 ②ふれあい看護体験 ③看護の出前授業</p>	<p>(5)</p> <p>①9月～10月：3日間 10名 ②採血セミナー・救護セミナー 5回開催：21名受講 ③10月2日：県看護研修会館 9名参加 11月29日：霧島医療センター 10名参加 ④助産師能力キャリアアップセミナー10～12月(4日間) 2名参加 (Zoom) ⑤8月7日：Zoom開催 45施設参加</p> <p>(6)</p> <p>①看護の日写真展 5月11日：進路相談 3名 5月3・4日キッズジョブフェスタ： 32名参加 ②ふれあい看護体験 37施設(小中高校生403名) ③看護の出前授業 7校(学生:479名 教諭他:53名) 9/13：福祉・保健医療のしごと就職フェア相談者4名 12/14：みらいワーク鹿児島進学、就職応援フェア(体験者数：128名 進路相談者数：9名)</p>
	定款2-2 看護職確保及び就業継続が可能となるような看護職の働き方改革の普及・推進	<p>①看護業務の効率化・生産性向上のための先進事例の情報収集及び普及 →医療勤務環境改善支援センターとの連携 ②ちっとばっかい業務改善in鹿児島“作成 ③プラチナナースの実態調査★ ④県看護職確保対策検討会への参画 ⑤看護110番の運営</p>	<p>①医療勤務環境改善支援センターとの連携：10/17会議に出席し情報共有(看護職からは2件の相談あり) ②ちっとばっかい業務改善in鹿児島：7事例(県看護研究学会でポスター展示) ③2019年の先行調査の結果を基に第2弾として作成中 ④看護110番相談件数：29件/年</p>
	定款2-3 労働環境改善の取組推進	1 看護職処遇改善の取組推進	<p>①関係者への労務管理研修 ②看護協会・看護連盟共催研修開催 9/6 72名 ③看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 6/11・8/27 計198名 ④労働と看護の質「ターナー」事業(DINQL)の推進</p>
	定款2-4 看護補助者の確保・定着の推進	<p>①看護補助者の確保・定着の仕組みの構築 ②看護補助者確保推進事業</p>	<p>①・病院(求人施設)・HW・行政・商業施設へのチラシ配布 ・HW主催のミニ説明会の日にあわせてチラシ配布と看護補助者の業務内容について説明 新規求人登録：13施設 ・看護補助者へのオンデマンド研修の案内</p> <p>②モデル事業 川薩地区(3校・6医療機関) 始良地区(3校・6医療機関) 奄美地区(2校・2医療機関) で看護学生や高校生を活用したモデル事業実施 40名の学生参加</p>
	定款2-5 地域における看護職の確保と活躍推進	①ボランティアナースの登録・活動推進	①ボランティアナースの登録者数：159名 依頼件数：25件 調整数：58名
定款3		取組事業	取組実績
及び看護に係る看護制度の調査及び研究並びに看護業務に関する事業	定款3-1 看護業務に関する看護の質の向上支援	<p>(1) 職能委員会活動の推進</p> <p>①職能独自の問題の検討・提言 ②保健師、助産師、看護師のラダーの推進 (2) 各地区の連携強化</p>	<p>(1)</p> <p>①看I看護実態調査を実施 ②研修計画「ラダー」を反映 (2) 定款6-4と同様</p>
	定款3-2 看護業務改善等への提言	<p>①県への要望書の提出 →看護連盟、教育協議会との検討 ②県議会議員による友好団体要望聴取並びに意見交換会</p>	<p>①令和8年度予算要望書の提出 (看護連盟、教育協議会と連携し作成、連名で提出 8/7) ・緊急要望(県看護協会と看護連盟で、県議会議長及び県保健福祉部長へ提出 10/10) ②自民党県議会議員との意見交換(11/14) 看護連盟と出席</p>

定款 4	取組事業	取組実績
定款 4-1 看護提供体制の構築 外来機能・訪問看護・ 看護小規模多機能居宅 介護提供体制強化	(1) 訪問看護ステーションかごしまの適正運営 ①経営基盤の強化 ②運営委員会の実施 ③広報活動(地域住民、会員・会員外への事業紹介) ④関係機関・関係団体との連携協力 (2) 居宅介護支援事業所の適正運営 (3) 在宅領域、介護・福祉施設で働く看護職を対象とした研修会 ①訪問看護師養成研修 ②訪問看護ステーション新任看護管理者研修 ③高齢者権利擁護等推進事業における看護実務者研修	(1) ①別紙報告 ②運営委員会：1/22(出席者10名) ③利用者対象にステーションだより発行：1回/月 ④県訪問看護ステーション協議会管理運営委員 地域連携会議出席(市立病院、市医師会病院) 学習会開催：講師：精神科医師 (出席職員16名、外部参加者15名) (2) 【介護報酬】 令和7年度4～3月 請求件数 447件 【担当件数】 新規受け入れ件数 令和7年度13件 担当件数：令和8年3月末時点41件 (3) ①訪問看護養成研修受け入れ (入門・e-ラン・小児訪問看護) ②訪問看護管理者研修受け入れ
地域ケアサービスの 実施及び促進等による 県民の健康及び福祉の 増進に関する事業	(4) 訪問看護供給体制総合支援事業(県委託) ①訪問看護供給体制総合支援検討委員会 ②新卒訪問看護師受け入れ事業所サポート ③地区別訪問看護意見交換会 ④看護小規模多機能居宅事業所交流会の支援 ⑤総合相談窓口の運営・報告書の作成 ⑥訪問看護におけるDXの現状・課題の把握 (5) 外来機能の強化 ①外来における在宅療養支援能力向上研修	(4) ①検討委員会：1回目：7/31 2回目：3/17 作業部会：1回目：7/10、2回目：10/29、3回目3/4 ②新卒等訪問看護師・管理者向け研修会 打合せ会：10/28、研修会11/21(37人) ③大島地区：11/21(38人)、大隅地区：2/26(36人) ④看護小規模交流会：10/30 31名参加 ⑤専門相談員による相談対応：44件(延46件) 相談内容をもとに報告書作成、協会HPに掲載 ⑥ICT等活用の研修会：2/7(47人：内zoom37人) ⑦ハラスメント調査：回答(管理者68人、従事者116人) (5) ①研修実施 6/28 44名
定款 4-2 地域における健康・療 養支援体制の強化	①糖尿病重症化予防に係る人材確保事業(県委託) → 鹿児島地区、川薩地区、始良・伊佐地区 ②保健師職能委員企画研修 産業保健部門との連携(メンタルヘルス) ③外来における在宅療養支援能力向上のための研修(再掲)	①糖尿病重症化と展望に係る人材確保事業 ・鹿児島地区：8/9 県看護研修会館 75名 ・始良伊佐地区：9/13 霧島市立医師会医療センター47名 ・川薩地区：10月18日 薩摩郡医師会病院 32名 ③定款4-1(5)の再掲
定款 4-3 母子への包括的支援を 行う看護職の資質向上	(1) 医療的ケア児等支援等センター運営(県委託) ①相談対応 ②現場支援 ③人材育成 ④連携構築 (2) 医療的ケア児等支援者の人材養成の企画・運営 ①医療的ケア児等支援者養成研修 ②医療的ケア児等コーディネーター養成研修 ③医療的ケア児等コーディネータースキルアップ研修 (3) 小児訪問看護師育成研修(県委託) ①講義、実技研修、医療機関(NICU)や訪問看護事業所での実施研修 (4) 助産師活用推進事業(県委託) ①協議会の開催 ②産科医療機関での実施研修 (5) 訪問看護ステーションかごしまの母子支援	(1) 医療的ケア児等支援等センター運営(県委託) ①相談対応 延人数 464名 実人数90名 ②現場支援 2回：中学校・児童発達支援事業所 ③人材育成 7回：鹿児島市保育園協会等からの要請に応じて講師を務めた。 ④連携構築10回：自立支援協議会(4回) 個別事例の協議会(6回) (2) 医療的ケア児等支援者に係る人材養成の企画・運営 ①医療的ケア児等支援者養成研修：126名 ②医療的ケア児等コーディネーター養成研修：48名 ③コーディネータースキルアップ研修：99名 (3) 小児訪問看護師育成研修(県委託) ①講義、実技研修、実施研修、29名参加 (4) ①協議会：3/26、調整打合せ会9/30、報告会3/17 ②受け入れ医療機関6施設、 実習参加医療機関5施設 8名 (5) 別紙報告
定款 4-4 感染症拡大及び災害発 生時における看護提供 体制の整備	(1) 災害支援ナース養成研修等の企画・運営 ①災害看護レベルアップ研修 ②災害支援ナースフォローアップ研修 ③災害支援ナースの活動体制の整備 ④災害支援ナースの活動等の周知 (2) 災害に関連した訓練への参加等 ①日本看護協会派遣調整訓練 ②鹿児島県総合防災訓練への参加及び訓練支援 ③鹿児島市桜島火山爆発総合防災訓練への参加及び訓練支援 (3) 県医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携	(1) 災害支援ナース養成研修：8/29、30開催 ①RS. 2/21：72名参加(講師：日赤石巻Hh看護師長) ②RS. 1/16：108名参加(悪石島派遣の報告等) ③県医師看護人材課と定期的打合せを実施。 協定締結医療機関や区市町村職員等説明会 2/19(zoom)：140名参加 ④広報誌「看護かごしま」に掲載：県総合防災訓練 (5/25)、十島村悪石島への派遣(7/7～25)など (2) ①対象地区外で参加できず ②5/25のさつま町での訓練に、災害支援ナース39名が参加 ③RS. 1/10の鹿児島市桜島火山爆発訓練に委員参加 (3) 合同シンポジウムを開催(7/6)

地域ケアサービスの実施及び促進等による県民の健康及び福祉の増進に関する事業	定款4-5 本会BCPの具体化等	(1) 本会BCPの具体的検討と体制づくり	BCPチーム会議：5/7、6/18、7/22、9/5、10/2、1/14、2/20、3/12実施 8/6は、研修受講生がいる時間帯の避難誘導を訓練した。 各部署のBCPも同時に見直し、場面ごとのアクションカードを作成。
	定款4-6 医療看護安全に関する支援	(1) 医療・看護安全対策に関する情報収集 ① 地域での取組みに関する情報収集と支援 医療安全ネットワーク病院連絡会の開催 ② 日本看護協会関係会議への参加 ③ 看護110番相談の実施 (2) 医療安全管理者の養成と質の向上 ① 医療安全管理者養成研修 ② 医療安全対策検討委員会主催研修 (3) 関連機関団体との連携促進 ① 院内医療事故調査実施に伴う調査支援員の派遣 ② 医療事故調査支援団体の周知	(1) 医療・看護安全対策に関する情報収集 ① 医療安全ネットワーク拠点病院連絡会：8/30・2/7 ② 日本看護協会関係会議への参加：2名 11/11「医療事故調査制度に関する情報交換会」 ③ 看護110番相談件数：29件/年 (2) 医療安全管理者の養成と質の向上 ① 医療安全管理者養成研修：82名修了 ② 医療安全対策検討委員会主催研修：2回実施 (3) 関連機関団体との連携促進 ① 院内医療事故調査実施に伴う調査支援員の派遣：なし
	定款4-7 県民の健康づくり推進に関する事業	(1) 生活習慣病予防事業及び介護予防事業対策への取り組み ① 関係機関の連携会議・イベント等への参加・協働 ② 地区における「まちの保健室」の開催 ③ 他団体との連携 ④ 広報活動「健康がこしま21通信」への寄稿 (2) その他健康づくり等に関連した事業や協議会等への参加 ① 子ども・高齢者支援への取り組み ② 生涯を通じた女性の健康支援 ③ がん対策支援、④ 難病・障害者支援、⑤ 自殺対策	(1) 生活習慣病予防事業及び介護予防事業対策への取り組み ① 多数参加 ② 各地区活動で実施 ③ ④ 鹿児島県及び鹿児島市の地域、職域、学位記連携推進委員会に出席するとともに、職場の健康づくりに関する情報誌を作成した。 (2) ①～⑤県・市町村の実施する協議会等に出席している。
	定款4-8 次世代育成支援事業の推進	(1) 思春期対策の取り組み ① 啓発活動推進 ② 関係機関との連携 ③ 性に関する指導の推進 ④ 性に関する研修会・交流会 (2) 「看護の心」普及事業（再掲）	(1) ③ 鹿児島市小中高の24校を受託 ④ 第1回「男子への性に関する指導」7/19 23名参加 第2回「特別支援学級における性に関する指導の現状」、「男性看護師による性に関する指導の実際」2/21 28名参加 (2) 定款2-1 (6) に掲載
定款5		取組事業	取組実績
日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業	定款5-1 日本看護協会との連携を密にしての重点事業の展開	(1) 日本看護協会関係会議への参加 ① 日本看護協会通常総会・職能別集会 ② 法人会・都道府県職能委員長会 ③ 九州地区法人会・連絡会・職能委員長会 ④ 担当者会議 (2) 在宅医療・介護における連携推進事業	① 総会 6/11、12千葉県 役員、職能委員長 ② (職能委員長出席) ③ 10月23・24日 大分県 会長、専務理事、4職能委員長出席 ④ 12/17 日本看護協会主催の危機管理担当者会議で当協会の取組報告予定 (2) 定款5-4 (2) と重複
	定款5-2 看護の日・看護週間の推進 (再掲)	(1) 看護の日・週間関連事業の実施	
	定款5-3 自然災害・感染症発生時における看護支援体制の推進 (再掲)	(1) 災害支援ナースの活動体制等の整備 ① 災害支援ナースの養成研修の実施 ② 日本看護協会派遣調整訓練	① 8月29・30日実施 77名修了 ② 該当県ではなく参加不可だった
	定款5-4 日本看護協会委託事業等の推進	(1) 日本看護協会委託研修の実施 (2) 日本版ナース・プラクティショナー (仮称) 制度検討委員会への参画	(1) 医療安全管理者養成研修 82名修了 7～12月 (オンデマンド研修) 11/29 集合研修 (2) 日本看護協会のNP制度検討委員会(6/3、9/17) 会長出席 ・いちき串木野市の訪問看護ステーションさくらをモデルとした実証事業を共催で実施し、いちき串木野市医師会、行政、他の3訪問看護ステーションとの報告会及び勉強会を開催した。モデル事業の意義や課題を「看護」に投稿。 2/25：勉強会：訪問看護ステーション(22名参加) 3/25：報告会兼包括的指示に関する勉強会(12名参加)

定款 6	取組事業	取組実績
<p>定款 6-1 会員加入・継続の促進</p>	<p>(1) PR推進委員会の設置 ①各事業・研修に係るPR活動を積極的に実施する ②広報活動の充実 ・看護協会ホームページの定期的改善 ・「看護かごしま」等広報誌の見直し★ ・ユニセフなど関係機関・団体との連携 ③会員支援に関する事業の充実 ・看護職賠償責任保険制度加入促進 ・会員の福利厚生充実 ④会員の動向分析と理事会等での情報共有 (2) 役員、地区長及び連盟による会員加入活動 ①看護学校学生(入学式・戴帽式・卒業式等)への看護協会のPR ②県医師会、高齢者施設・障害者施設等団体へのPR (3) 図書室管理・運営の整備・充実</p>	<p>(1) PR推進委員会の設置 ・PR推進委員会の開催 5月21日(水)、11月8日(土) ・新任期看護師へのアンケート実施 164名回答(81.2%) ②広報誌「看護かごしま」の見直し ・表紙、看護職2・3年目のリレーメッセージ等 ③当協会Instagram運用開始(1月6日～) ④会員支援のための事業の充実 ・研修受講料見直し(非会員は会員の3倍) ・協会独自の新任期保健師研修会の実施 ・看護研究チャレンジ応援事業の実施 ⑤理事会等で会員状況の説明、情報共有 (2) ①戴帽式に常勤役員等が出席しPRに努めた。 ※他、各地区での医療安全ネットワーク会議や管理者研修等で、活動紹介等会員の加入促進。 (3) 図書登録内容の確認と整理、雑誌の蔵書点検</p>
<p>定款 6-2 会員情報管理システムの広報及びシステム管理体制の強化</p>	<p>①会員情報管理の効率化・精度向上 ②施設担当者へナースシップの活用促進 ③会員へのキャリア登録の推進</p>	<p>①担当者のデジタル人材育成プログラム(研修)参加によるスキルアップ</p>
<p>定款 6-3 研修管理システムの推進</p>	<p>①研修管理システム(マナブル)の周知等による登録者の増加</p>	<p>①令和8年3月31日現在 マナブル登録者数14,064名(増1,134名) 組織内での研修システム周知と利用促進を呼びかけた結果、登録者数は1年間で1,000名増加(約1.4万人)し、研修基盤の定着が着実に進んだ。</p>
<p>定款 6-4 地区看護管理者間の連携強化</p>	<p>①各地区の看護管理者会(研修会・交流会)の開催 →地区長情報交換会 →各地区での看護管理者会の開催 ②看護部長等のメーリングリストの活用</p>	<p>①地区長情報交換会：理事会と同日に開催(5/16、7/12、9/27、11/、1/17、3/14) ②看護かごしま秋号と同便で、改めてメーリングリストの登録依頼を実施。併せて災害時の協会への報告用紙等の周知を行った。(現在135施設登録)</p>
<p>定款 6-5 看護連盟・教育協議会との連携</p>	<p>(1) 看護連盟・教育協議会との連携 ①県等への要望活動 ②看護連盟定例会 3回/年 ③連盟と協働での会員確保活動</p>	<p>①県への要望活動 ・令和8年度予算要望(県看護協会、県看護連盟、県教育協議会で県知事へ提出 8/7) ・緊急要望(県看護協会と看護連盟で、県議会議長及び県保健福祉部長へ提出 10/10) ・自民党県議会議員との意見交換(11/14) 看護連盟と出席 ②定例会(会議3回、研修1回) ③2日間(12/8: 8施設訪問、12/22: 8施設訪問)</p>
<p>定款 6-6 行政・関係団体等との連携</p>	<p>(1) 行政・関係団体等との連携 ①県看護係との定例会 ②県関係部署との連携 ③関係団体(三師会、訪問看護ST協議会、栄養士会、POS協会、女性団体連絡協議会等)との連携</p>	<p>(1) ①今年度から毎月1回開始し、就職ガイダンスや災害支援ナースの派遣調整、県看護人材確保計画等について協議を重ねている。 ②県各部署とは、委託事業の契約や企画・実施において、随時打ち合わせを行っている。 ③随時、研修会や会議への出席等連携している。</p>
<p>定款 6-7 協会における円滑な組織運営と看護研修会館の管理</p>	<p>(1) ハラスメント相談窓口の設置 ①看護協会職員用 ②研修講師、受講生、各種委員等用 (2) 県看護研修会館あり方検討会の開催★ (3) 計画的な職員確保・育成 (4) 館内外の情報セキュリティ管理</p>	<p>(1) ①、②とも相談件数は0件 (2) 第1回(R6.3.8):スケジュール、今後の進め方 第2回(R7.4.22):当面の方針案、アンケート案(1弾)の検討 第3回(R7.8.26)長期修繕計画、アンケート(1弾の結果、2弾案) 第4回(R7.12.23) ・第2弾のアンケート結果概要 ・鹿児島看護研修会館整備基本構想(案) 第5回(R8.3.14) ・鹿児島看護研修会館整備基本構想(案) (3) 職場研修の実施(R7.7.31) 目標管理シートの作成 ほか (4) BEETBOXの設置による外部からの不正アクセスの防止、情報セキュリティ対策の周知</p>

その他本会の目的を達成するために必要な事業